

豊穰な社会のための防災研究拠点 中間活動報告



豊穰な社会研究センター
Research Center for Sustainability, Resilience and Well-being

豊穰な社会研究センター
センター長 細田 暁

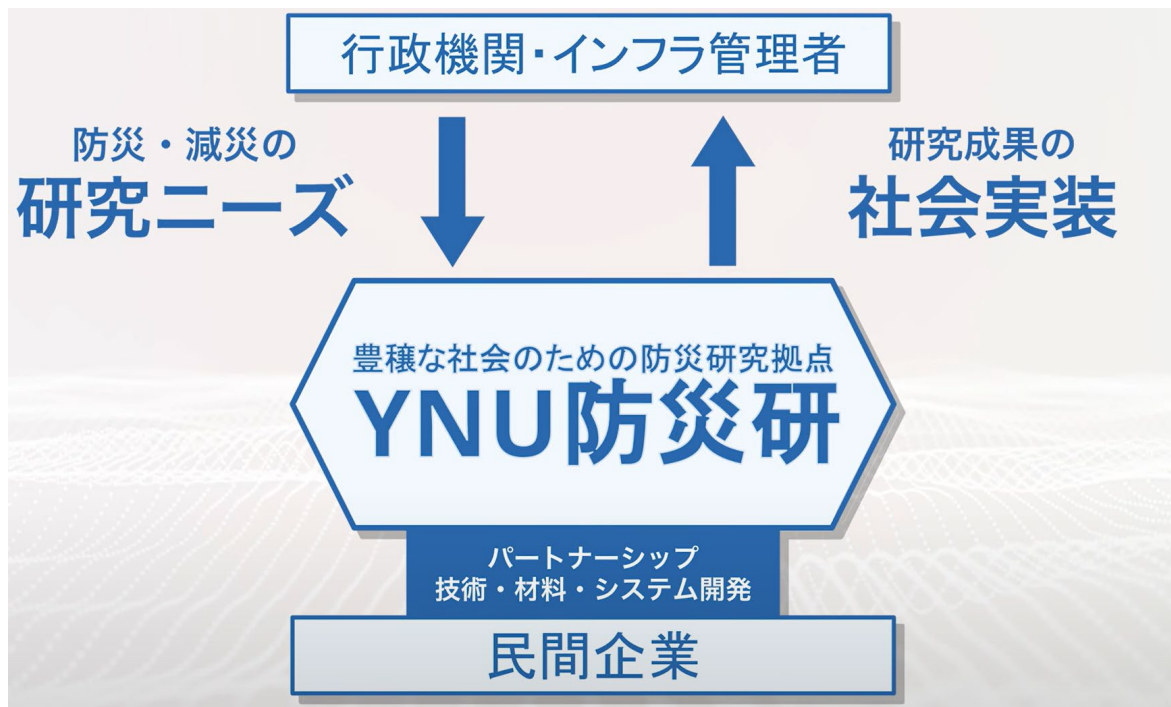


豊穰な社会のための防災研究拠点（YNU防災研）

2023.4より、「豊穰な社会研究センター」が設立

拠点の活動目的

横浜市・神奈川県・高速道路会社・鉄道会社等との連携を強化し、
地域の防災・減災にハードとソフトの両面で貢献するとともに、
防災・減災に関して全学の関連組織と連携し、学府・学部の教育へも貢献する。



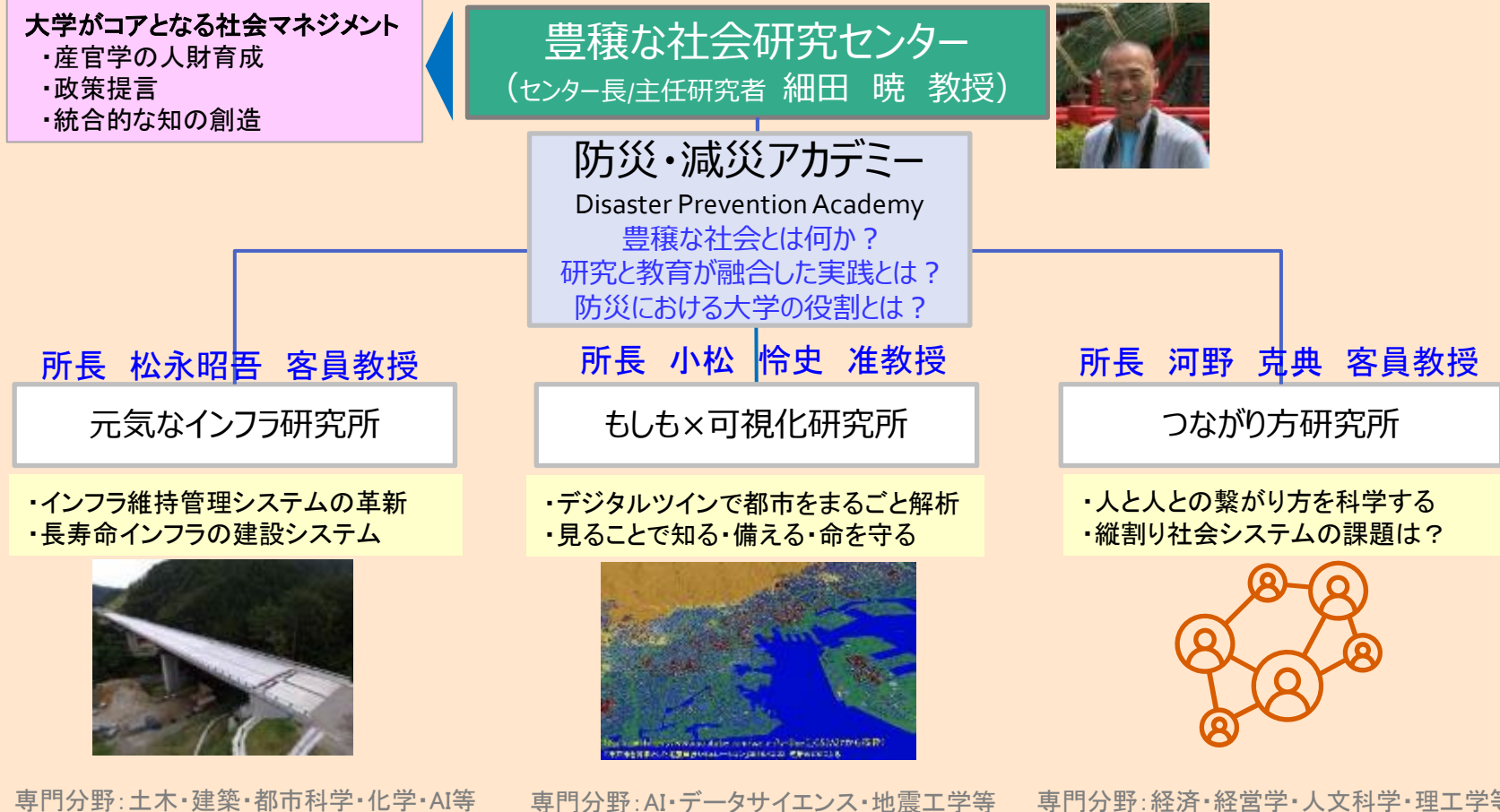
神奈川・横浜エリア等の
社会の強靱化への貢献

大学のもつ
コンサルティング機能の
強化

防災・減災マインド
を持った人財の育成

◆ 研究センターのビジョン

社会を支えるインフラに関する研究、デジタルツイン技術による防災・減災のための研究、そして、幸せな社会のための人と人のつながり方についての研究、を通じて豊穡な社会を目指す。





防災・減災に貢献する 豊穡な社会研究センター

Research Center for Sustainability, Resilience and Well-being



所長 松永昭吾 客員教授
(株式会社 インフラ・ラボ 代表取締役)

所長 小松 怜史 准教授
(都市イノベーション研究院)

所長 河野 克典 客員教授
(株式会社 CONTACTIVITY 代表取締役)

元気なインフラ研究所

元気なインフラ研究所のコンソーシアムはこちらを

元気なインフラ研究所 所長：松永 昭吾【IMS客員教授】：株式会社インフラ・ラボ（代表取締役）

元気なインフラ研究所 副所長：田村 洋【都市イノベーション研究院 准教授】

細田 暁【都市イノベーション研究院 教授】（主任研究者） ブログは[こちら](#)

小松 怜史【都市イノベーション研究院 准教授】

杉本 訓祥【都市イノベーション研究院 教授】

勝地 弘【都市イノベーション研究院 教授】

河端 昌也【都市イノベーション研究院 教授】

前川 宏一【IMS客員教授】：株式会社ソーシャルデザイン研究所（CTO）

田中 伸治【都市イノベーション研究院 教授】

鈴木 崇之【都市イノベーション研究院 教授】

早野 公敏【都市イノベーション研究院 教授】

松本 由香【都市イノベーション研究院 教授】

藤野 陽三【上席特別教授】：城西大学（学長）

大和 裕幸【IMS客員教授】：一般財団法人 次世代環境船舶開発センター（代表理事）

二宮 純【IMS客員教授】：中国水工株式会社（技術顧問）（元・山口県）

シリングリンゴ ディオニシウス マンリ【IMS特任教員（准教授）】

もしも×可視化研究所

もしも×可視化研究所 所長：小松 怜史【都市イノベーション研究院 准教授】

もしも×可視化研究所 副所長：杉本 訓祥【都市イノベーション研究院 教授】

田村 洋【都市イノベーション研究院 准教授】

前川 宏一【IMS客員教授】：株式会社ソーシャルデザイン研究所（CTO）

飯山かほり【IMS客員准教授】：鹿島建設株式会社（上席研究員）

細田 暁【都市イノベーション研究院 教授】（主任研究者） ブログは[こちら](#)

Addisu Bongor【IMS客員助教】：三井住友建設

藤野 陽三【上席特別教授】：城西大学（学長）

佐土原 聡【IMS客員教授】

櫻井 彰人【IMS客員教授】：株式会社大崎総合研究所（顧問）

つながり方研究所

つながり方研究所 所長：河野 克典【IMS客員教授】：株式会社CONTACTIVITY（代表取締役）

つながり方研究所 副所長 樽沼 範久【都市イノベーション研究院 教授】

細田 暁【都市イノベーション研究院 教授】（主任研究者） ブログは[こちら](#)

松永 昭吾【IMS客員教授】：株式会社インフラ・ラボ（代表取締役）

三井 実【IMS客員准教授】：ミテモ株式会社（シニアディレクター）

真鍋 誠司【国際社会科学研究院 教授】

清水 美ゆき【IMS客員研究員】

稲垣 景子【都市イノベーション研究院 准教授】

佐藤 峰【都市イノベーション研究院 准教授】

佐藤 千恵【IMS客員教授】：有限会社ビズテック（取締役社長）

泉 真由子【役員 教授】

和のAI・コーチング イベント



2024年度 YNU Dialogueシリーズ

「和のAI・コーチング」

～分断と孤立の時代に、主客を分離しない、
「私たち」を主語にした和のコーチングを模索する～

対話オーナー

細田 暁 教授 (横浜国立大学 総合学術高等研究院 豊穠な社会研究センター長)

ゲストスピーカー

丸山 達哉 氏 (東京コーチング協会理事 / 国際コーチング連盟マスターコーチ)

新田 崇信 氏 (大慈山佛心寺副住職)

三好 淳一 氏 (AIコーチ 株式会社リフレクト社代表)

対話マスター

河野克典 IMS客員教授 (株式会社CONTACTIVITY代表、
豊穠な社会研究センターつながり方研究所)



丸山 達哉

人間の成長および創造の場として
コーチングを追求しているマスターコーチ

■内容

- ・冒頭あいさつ：絡合的な生き方と豊穠な社会 (細田 暁)
- ・講演①：主客を分離しない、
「私たち」を主語にした和のコーチングとは？ (丸山 達哉)
- ・講演②：わびさび、をコーチングに活かす (新田 崇信)
- ・講演③：「和のAIちゃん」が加わる対話とは？ (三好 淳一)
- ・対談：「分断と孤立の時代に、
個の幸せよりも絡合的で豊穠な社会を目指す」
- ・会場の皆さんとミニワーク

新田 崇信

祈りによる悲しみの癒し、
グリーフケアを探究する

2024.5.27 (月) 15:00-17:30

参加方法

対面：先着 100名 参加費無料
(講演部分のみオンライン配信)

会場：横浜国立大学

図書館メディアホール

横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5

主催：横浜国立大学 総合学術高等研究院

申込み



YNU dialogue とは

「研究成果を社会に問い、対話から
新たな価値を生み出す場」、「学内外
の多様な人材がオープンに交流し、学
びあう場」、「実践的な研究や社会実
装活動を通じた人材育成の場」を対
話的手法を活用して実践し、未来に
ジョンの共有と実現に向けた対話から
学び合う、横浜国立大学独自の取
組みです。

2024年5月27日に、YNUメディアホールで開催
(梅原学長も参加)

- ◆ 東京コーチング協会と連携
- ◆ 西洋的な「主客を分離しない」、
私たちが主語にした「和のコーチング」
の模索
- ◆ 「わびさび」をコーチングに活かす
- ◆ AIが対話に加わるコーチング
- ◆ 対談「分断と孤立の時代に、
個の幸せよりも絡合的で豊穠な社会
を目指す」

このイベントの後、

「和のAI・コーチング」のコンセプトが、
つながり方研究所により、コンサルティング、
コーチングのソフトウェア開発につながった。

福島とつながる イベント





2024年度 YNU Dialogueシリーズ

福島の今を知り、100年後の豊穰な社会を考える ～未来の景色からヒントを得た、人の心を動かすまちづくり～

対話オーナー
細田 暁 教授 (横浜国立大学 総合学術高等研究院 豊穰な社会研究センター長)
ゲストスピーカー
遠藤秀文 氏 (一社) とみおかワインドメヌ代表、(株) ふたば代表取締役
対話マスター
河野克典 IMS客員教授 (株式会社CONTACTIVITY代表、
豊穰な社会研究センターつながり方研究所)

遠藤 秀文氏





とみおかワインドメヌが栽培中の富岡町駅前広がる葡萄の木 (撮影者: 細田教授)

2024.5.28 (火) 18:00-19:30
(19:30- 交流会)

参加方法
オンライン&リアル (会場は先着30名)
参加費無料
リアル会場: Wework オーシャンゲート
みなとみらい
横浜市横浜西区みなとみらい3-7-1
オーシャンゲートみなとみらい 8F オープンスペース

申込み



YNU dialogue とは

「研究研究成果を社会に問い、対話から新たな価値を生み出す場」、「学内外の多様な人材がオープンに交流し、学びあふ場」、「実践的な研究や社会実装活動を通じた人材育成の場」を対話的手法を活用して実践し、未来ビジョンの共有と実現に向けた対話から学び合う、横浜国立大学独自の取り組みです。

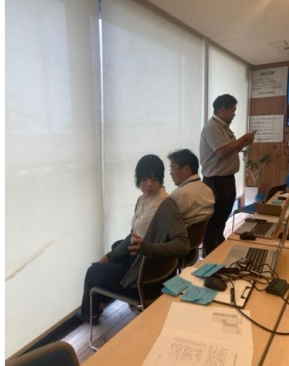
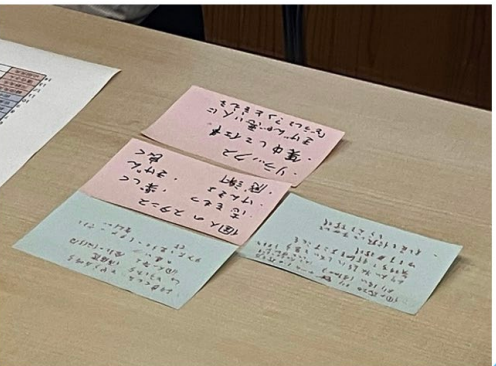
主催: 横浜国立大学 総合学術高等研究院

**2024年5月28日に、みなとみらいWeworkで開催
(梅原学長も参加)**

- ◆ (一社) とみおかワインドメヌ
(株) ふたば代表の遠藤氏と連携
- ◆ 講演「復興のワインづくり」
- ◆ 対談「100年後の豊穰な社会を考える」
- ◆ 全員で対話「私たちのできること」
- ◆ 分断と孤立の時代に、
個の幸せよりも総合的で豊穰な社会
を目指す」

**このイベントの後、
(株) ふたばの社員と横浜国大で対話に夜コラ
ボレーションを実施。**

福島企業とつながる イベント



2024年8月5日に、福島県富岡町と郡山にて
(株)ふたば社員と豊穰C、福島大学で対話会を開催した。

- ◆ テーマ「ビジョンの自分ごと化」
- ◆ 参加者
ふたば社員 16名、横浜国大 5名、
福島大 1名 計 21名
- ◆ 目的
繋がる技術で協業テーマ探求
- ◆ (株)ふたばとYNUの共同研究によって生まれる未来（アウトプット）：
心理的安全性を基盤とした経営手法の進展により、従業員の満足度が高まり、結果として企業全体の生産性と創造性が飛躍的に向上することが期待される。

つながるコンソーシアムの立ち上げ

Arco Communications 協賛

日本コミュニケーション科学会 対話とAIの融合技術 エピソードlink 発表会 2024

量子唯識仮説/対話技術/AI技術/の理論と実践テクニックまで、
参加者内でディスカッション！
多様な分野への応用を探求します

10.6^{SUN}
16:00-18:00

対話と データで 組織のつながりを強化

コミュニケーション科学会は、コミュニケーションに関する研究と実践を融合させ、社会全体のつながりを強化するための活動を行っています。具体的な活動内容としては、最先端のコミュニケーション技術や理論の研究から、その成果を実際の組織やコミュニティに応用するまで、多岐にわたります。

- ・ 場所: cafe Arco
横浜市神奈川区松本町6丁目4 1-4
- ・ 日時: 2024年10月6日 16:00~18:00
- ・ 参加費: ¥3,000
- ・ 参加申込: 下記よりお申し込みください。
(オンライン参加も可能です)



エピソードlink 開発者
河野克典

株)日本コミュニケーションアカデミー
代表取締役

先進的なコミュニケーション技術と理論
の探究・普及を通して、人々や組織のつ
ながりと効果的な対話を促進し、社会全
体の持続的発展に貢献します。

右記のQRコードからお申し込みください。



お問い合わせ: 株式会社 日本コミュニケーションアカデミー info@comac.jp

まずは有志にて、学際領域のコミュニティ
“日本コミュニケーション科学会”を立ち上げた

- ◆ 第1回会合 10月6日
- ◆ テーマ「対話とAIの融合」
- ◆ 参加者: 35名
(コーチ、弁理士、教師など)
- ◆ 第2回会合 10月31日
- ◆ テーマ「ビジネスシーンのつながるAI」
- ◆ 参加者: 16名
(ビジネスコーチ、コンサル他)
- ◆ 第3回予定 11月26日
- ◆ テーマ「(仮) 教育・学習とAI」



横浜市における複数被災シナリオを統合した 緊急輸送路閉塞リスク評価マップの提案

2024年10月3日(木)

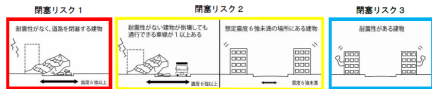
横浜国立大学

2. 担当部分がSIPを通じて目指す姿についてのバックキャスト

現状

SIP開始時の状況

- ・建物倒壊を想定した単一シナリオに基づくリスク評価
 - ・耐震性の有無と建物高さや道路幅の関係という、論拠に欠ける評価
- 被災シナリオを統合した合理的なリスク評価マップが必要



研究開発

SIP終了時に開発されていること

- ・緊急輸送路を閉塞する可能性のある地震以外の災害あるいは震災による建物倒壊以外の被害の重畳・連鎖（橋梁等の被害、斜面災害、地震後の火災など）といった複数の被災シナリオを統合した革新的なリスク評価マップを提示



広域での評価(確率HM)



- ・提案する評価手法（建物倒壊評価法，橋梁被害予測手法）の自動化を試みる。

- ・成果のとりまとめ（手引き化）を行うことで，横浜市以外の自治体等への展開を目指すとともに，横浜市耐震改修促進計画への反映を目指す。



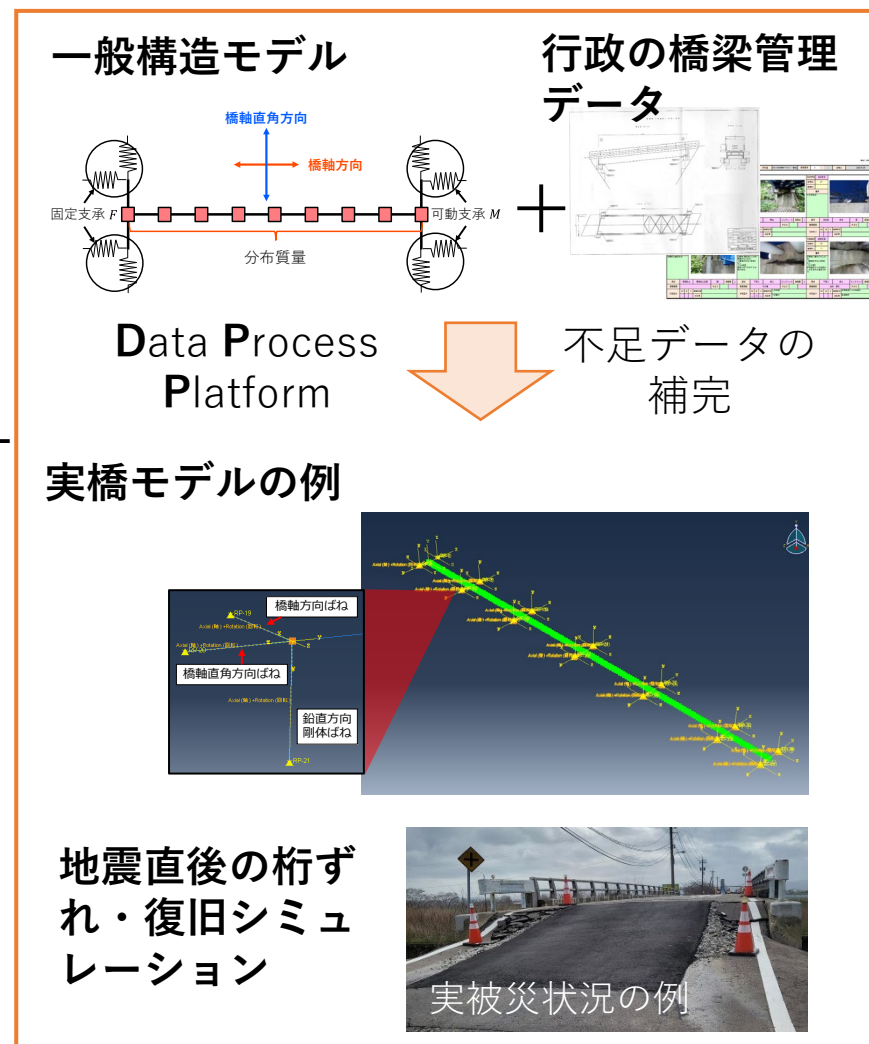
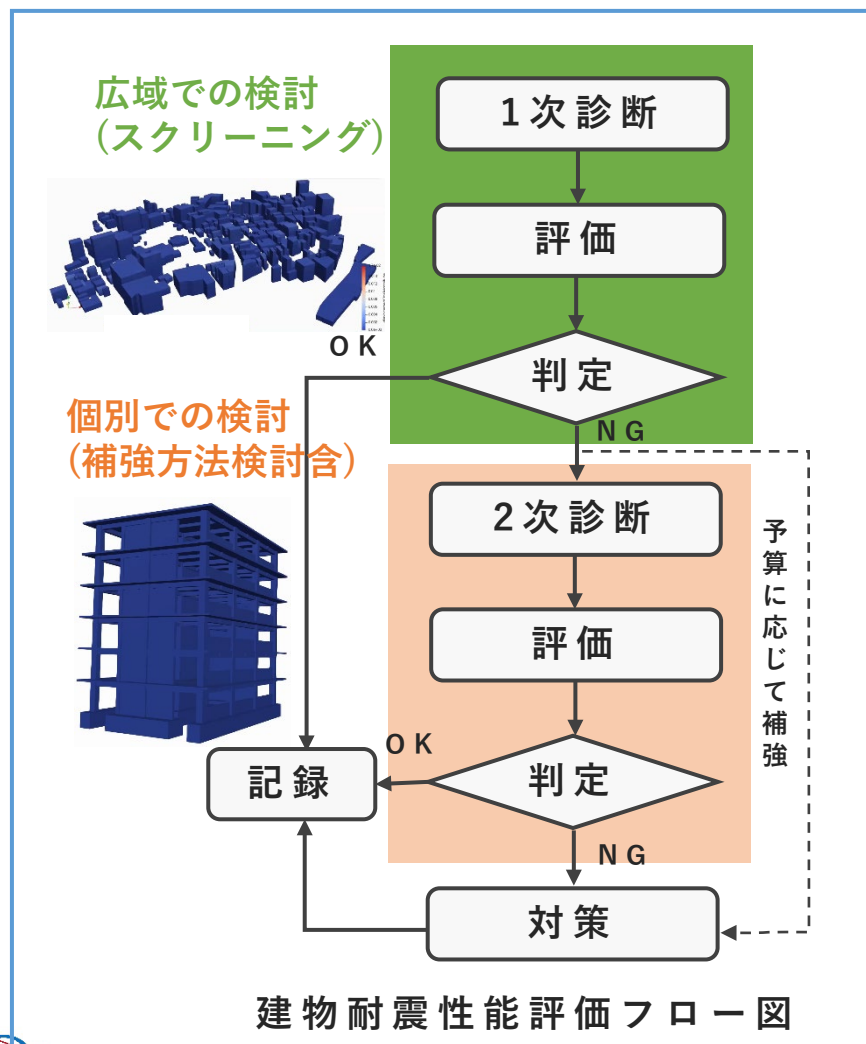
目指す姿

SaaS化

シミュレーションドリブンの災害対策行動の変容

3. 担当部分の概要

- 広域における建物倒壊リスク評価手法の高度化・自動化を図る。
- 桁ずれによる交通障害リスク評価のため橋梁モデル作成の自動化を図る。



元気なインフラ研究所 -Long-life Healthy Infrastructure Laboratory-



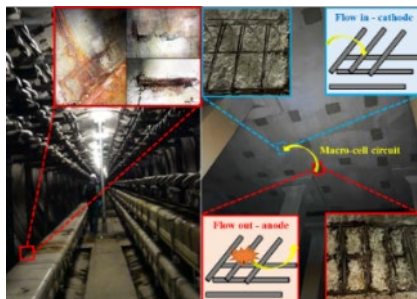
ひび割れゼロの長寿命の橋



山岳トンネル養生システム



鉄道レールの座屈防止



地下構造物の腐食

- 元気なインフラが、豊かで持続可能な社会を支える。
- 元気なインフラが、地域や社会の防災・減災力を向上させる。
- 都市への集中を緩和し、都市・地方が均衡的に発展する。
- インフラが健全であるための技術、サステイナブルな材料技術、人材育成システム

学内メンバー

都市イノベーション：建設材料学、構造工学、地震工学

都市イノベーション：水工学 / 海岸工学

都市イノベーション：建築計画、都市計画、都市防災

学外メンバー・連携先

国内の様々な大学、民間企業、研究・行政機関等

ダナン大学、カイロ大学、ラホール工科大学等

能登の山岳トンネルの覆工コンクリートの崩壊 (2024.7)



元気なインフラ研究所 コンソーシアム

センター内の3つの研究所の一つである「元気なインフラ研究所」では、そこに集う学内外の研究者、技術者、実務者たちの得意技を生かして、社会を支えるインフラ（社会基盤）の長寿命化，強靱化，環境負荷低減のための技術開発，技術の社会実装、インフラの建設や維持管理のためのシステムの構築や改善，に取り組みます。

コンソーシアムの活動目的：元気なインフラの建設，維持管理，建設・供用中の環境負荷低減などのための情報共有，コンサルティング，共同研究，技術の開発と社会実装，人財育成などのためにコンソーシアムを組織する。元気なインフラを通じて豊穰な社会の実現を目指す。対象分野は，橋梁，トンネル，上下水道，建築等のインフラや都市基盤，および，それらを構成するコンクリート，鋼，地盤などの材料を想定しています。

コンソーシアムの活動概要：情報共有のためのセミナーの開催，技術コンサルティング，課題解決のための共同研究，講師派遣，人財育成セミナー，など

コンソーシアムに参画いただきたいプレーヤー：インフラ管理者，行政機関，建設会社，建設コンサルタント，材料メーカー，研究機関，学校機関，個人など。

コンソーシアムの参加要件：民間企業はコンソーシアム参加のための年会費（5万円／年）。共同研究を実施する場合などは別途。



Research Center for Sustainability,
Resilience and Well-being

豊穰C、元気なインフラ研究所のコンソーシアム設立！ 会員募集しています。

♡ 7

 豊穰な社会研究センター
2024年1月8日 11:24



豊穰な社会研究センターの中にある3つの研究所の一つ、「元気なインフラ研究所」のコンソーシアムが設立されました。

コンソーシアムがどのようなものなのか、4分程度で分かる動画も公開しています。

元気なインフラ研究所の公開セミナーを、 2024.2月6日に開始

第1回「挑戦的なローカルモデルの創出と展開」
(2024.2.6)

第2回「地方自治体のインフラ維持管理の抱える
課題を議論する」
(2024.3.22)

第3回「真に我が国が発展するためのインフラの
ありかた」
(2024.5.28)

第4回「地方自治体のインフラ維持管理を救う
地域モデルの一つ、高岡モデルとは？」
(2024.7.5)

第5回「首都圏の鉄道地下トンネルの劣化の実態と
効果的な補修方法
ー塩害と断面修復工法ー」
(2024.8.10)

第6回「廃棄物も有効利用できる『オワコン』
による雑草対策、ヒートアイランド抑制への
チャレンジ」
(2024.10.9)



令和5年度 元気なインフラ研究所セミナー 挑戦的なローカルモデルの創出と展開

令和6年2月6日(火)15時~17時終了予定

オンライン: Zoom <https://us06web.zoom.us/j/84104173153>

参加費無料 富山県高岡市役所から配信

プログラム

- | | | |
|-------|---|-------|
| 15:00 | 開会挨拶/基調講演 元気なインフラ研究所の設立と挑戦
豊穡な社会研究センター長/高岡市アドバイザー | 細田 暁 |
| 15:15 | ブリコラージュによる橋梁メンテナンスの推進
熊本県玉名市建設部土木課 課長補佐 | 木下 義昭 |
| 15:35 | 人々の豊かな暮らしを支えるため、インフラを通じ、地域の
魅力を最大限に発揮させる。そのためにやれることから。
あいち橋の会 | 宮川 洋一 |
| 15:50 | 地産地消インフラメンテナンスによる強靱な地域づくり
豊穡な社会研究センター 客員教授 | 松永昭吾 |
| 16:05 | パネルディスカッション | |
| 16:55 | 閉会挨拶 | |

主催・お問い合わせ

横浜国立大学 豊穡な社会研究センター 元気なインフラ研究所
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 横浜国立大学 土木工学教室
concrete@ynu.ac.jp 045-339-4044

高岡市における、橋梁の維持管理システムの改善

- ・橋梁に必要な性能(安全性、使用性、第三者被害防止)を確保できる、無駄のない超合理的な点検システムの提案
- ・橋梁の性能の適切な診断システムの提案
- ・再劣化しない適切な補修工法の構築

高岡市橋梁点検ガイドライン（合理化案）

目次

1 適用の範囲（＊県マニュアルに準拠）

2 橋梁点検の目的＊

3 定期点検の種別 →レベル1, 2の見直し

4 定期点検の頻度＊

5 点検作業の流れ＊

6 点検体制＊

7 点検の内容＊

8 損傷程度の評価

グループA 近接目視（構造が複雑な橋梁等＊1）

グループB ドローンと部分的な近接目視（一部第三者被害のおそれがある橋梁等＊1）

① プレテンPC床版橋

② RC床版橋

③ -----

.....

グループC ドローンのみ（第三者被害のおそれがない橋梁等＊1）

9 診断＊

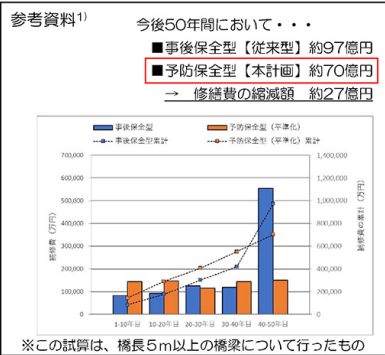
10 点検結果の記録 →点検調書の見直し

11 歩掛参考例

12 点検マニュアルの更新

>> 合理化点検の適用により、
約15%の点検費用削減が見込まれる。
従来点検：約2.0億円（5年間）
合理化点検：約1.7億円（5年間）
→削減：約0.3億円（5年間）
50年間で約3.0億円の点検費用削減

合理化点検により削減できる点検費は
50年間で必要な修繕費総額の約5%



2023年1月16日
高岡市－横浜国立大学－新日本コンサルタント
で三者協定を締結



2024年度 主な講演実績



講演のほか、公務員向け研修講師、小中高校での出前授業、月1回の社会人学び直し塾（ふくおか教養塾）、NHKラジオ出演、FM福岡ラジオ出演などを行った。



10/31

13:10-14:40 対面開催
川越キャンパス1号館1101教室

講演テーマ：インフラの教育・広報

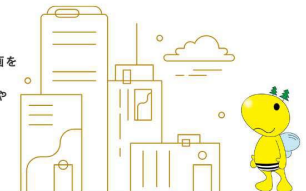
我が国のインフラ分野においては、人口減少・少子高齢化、災害の激甚化、構造物の老朽化の軽減が課題となっており、世界的には人口爆発とそれにもなう水・食料・安全な土地の不足、地球環境問題の解決が喫緊の課題となっている。戦後復興・高度経済成長期に進められた、効率化、高度化を目的とした分業・階層化を解消することによる解決策について土木技術者の立場から方向性を示す。



講演者：松永 昭吾 氏

横浜国立大学総合学術高等研究院
豊穠な社会研究センター元気なインフラ研究所 所長
株式会社インフラ・ラボ代表取締役

講演者プロフィール：
国内外において橋の設計・維持管理、および地震/噴火/豪雨災害等の災害調査・復旧計画を専門とする土木技術者、研究者。
大学、行政機関等において講師をつとめるかわら、東京、大阪における舟遊びガイドや子ども向けの土木工事の本物体験イベントを開催している。
モットーは「土木はやさしさをカタチにする仕事」。趣味は土木写真と歴史散歩、読書。
博士(工学)、技術士(総合技術監理、鋼構造及びコンクリート、道路)。
土木学会員、日本建築学会員。土木学会地震工学委員会委員、土木図書館委員、WEB情報誌fromDOBOKU編集長。1970年長崎県佐世保市生まれ。



主催：東洋大学大学院理工学研究科
mkdaigakuin@toyo.jp
川越教学課大学院担当

2024年度 主な講演実績①

日時	講演先	タイトル	講師
2024.4.19	岐阜県建設技術センター	地域建設業の魅力(行政向け)	松永
2024.5.17	東海コンクリート診断士会	インフラメンテナンスの魅力	松永
2024.5.25	ヨコハマ海洋市民大学	灯台の父・ブラントンとともに海から見る横浜	松永
2024.5.25	YOUテレビ ※一部出演. 7月横浜地区放送	西洋文明の灯を灯せ～灯台の父ブラントン～	松永
2024.5.31	(公社)日本コンクリート工学会 関東支部	自分の言葉で伝えるー土木広報虎の巻ー	松永
2024.6.2	宅島建設グループ経営計画会議(長崎)	建設業の価値と使命ー長崎県下で担う建設業の役割ー	松永
2024.6.12	SAGA建設技術フェア2024 (佐賀)	いま建設技術者が理解しておくべき5つのこと～デジタル化や働き方改革など～	松永
2024.6.28	寺島建設安全衛生大会(長崎)	安全の心構え～いま建設会社役職員が理解しておくべき5つのこと～	松永

2024年度 主な講演実績②

日時	講演先	タイトル	講師
2024.7.13	日本技術士会北九州地区支部 (福岡)	土木偉人・沼田尚徳技師に学ぶ技術者の魅力と矜持	松永
2024.7.24	三東工業社グループ安全衛生 大会(滋賀)	令和の時代の建設業～豊穣な 社会実現のために～	松永
2024.7.25	(一社)八代建設業協会	これからの建設現場に求めら れるマネジメントとリーダー シップ	松永
2024.9.3	(一社)土木学会 会長特別PJ パネルディスカッション	自分の言葉で伝える土木	松永
2024.9.4	(一社)土木学会 国際センター パネルディスカッション	国際特別講習会「土木の分岐 点@ジャンクション、みち、 未来～パラダイムシフト～」	松永
2024.9.7	大分県技術士会(大分)	土木広報の実践ー使命と価値 を伝えようー	松永
2024.9.13	長崎県測量設計コンサルタン ツ協会(長崎)	建設コンサルタント業務にお ける発注者からの評価～業務 成績と業務表彰を考える～	松永

2024年度 主な講演実績③

日時	講演先	タイトル	講師
2024.9.26	本州・北海道架橋を考える会 (北海道)	架橋が秘めた未来に向けて今 なすべきことは！(パネル)	松永
2024.10.4	旭建設技術定例会(宮崎)	いまシビルエンジニア・シビ ルワーカーが知っておくべき 10のこと	松永
2024.10.22	福岡県土木組合連合会直方支 部・遠賀川建設組合連合会 (福岡)	土木の魅力向上へ何が必要か 「時間どろぼう」とたたかおう	松永
2024.10.27	藤井基礎設計事務所(島根)	ドボコン（土木模型コンテスト）審査委員長	松永
2024.10.31	東洋大学理工学研究科(埼玉)	インフラの教育・広報～社会 問題の解決方法を考える～	松永
2024.11.7	博多みなと倫理法人会(福岡)	土木が目指す幸せな社会	松永

2024年度 今後の主な講演予定

日時	講演先	タイトル	講師
2024.11.22	Made in 新潟 新技術(新潟)	土木の魅力とその伝え方	松永
2024.11.23	福岡導水バスツアー(福岡)	福岡の水(仮)	松永
2024.11.28	北筑後地区中学校校長会 (福岡)	中学校防災教育における 土木史の効果的な活用(仮)	松永
2024.11.30	NPO法人まちネット人ネット 九州・西日本工業大学(福岡)	土木技術者からみた京築の自 然の恵みと防災	松永
2024.12.6	(一社)日本建設機械レンタル協 会滋賀支部(滋賀)	建機レンタル業の魅力 ～社会を支えるということ～	松永
2024.12.11	国土交通省九州地方整備局 鹿児島国道事務所(鹿児島)	九州の土木偉人に学ぶ未来へ の投資	松永
2024.12.13	鳥取大学工学部 社会システム土木系学科(鳥取)	元気なインフラと点検者	松永
2025.2.4	太平洋技術士会 太平洋セメントグループ(東京)	来るべき激甚災害に負けない 持続可能な社会の実現に向け て	松永
2025.2.	福井県コンクリート診断士会 (福井)	未定	細田C長 松永